

第 1 1 章
金 融

第 11 章 金 融

概況

平成 22 年の大阪経済をみると、前半は、エコポイント制度やエコカー補助金等の政策効果もあり、耐久消費財などを中心とした個人消費や住宅投資は持ち直し、輸出も回復傾向が続いた。それに伴い、生産や雇用なども改善の動きが続き、企業倒産件数も減少した。

年後半も、個人消費や住宅投資などは持ち直しの動きが続いたものの、自動車の販売は政策の終了に伴い急減し、輸出も円相場の影響などから増加幅が縮小した。それに伴い、生産の改善の動きは足踏みした。

雇用面では、完全失業率が、22 年を通じて高い状態が続いたが、男性の完全失業率は悪化に歯止めがかかり、女性は一年間を通じて改善傾向にあった。また、有効求人倍率は、一年間を通じて持ち直しの傾向にあった。

預金・貸出金

平成 22 年度末の府内の預金残高(信用金庫の計)は、6 兆 1496 億円(対前年度比 3.2%増)で 5 年連続の増加となった。

一方、平成 22 年度末の府内の貸出残高は、3 兆 6765 億円(対前年度比 1.9%増)で 3 年連続の増加となった。

手形交換高

平成 22 年中の府内の手形交換高は、1303 万 8 千枚、金額にして 33 兆 957 億円となった。

交換枚数は、昭和 55 年以降減少傾向を示しており、本年も前年比 7.7%の減少となった。交換金額でも、平成 3 年以降は減少傾向を示しており、本年も前年比 9.6%の減少となった。

不渡手形については、枚数が前年比 48.0%の減少、金額が 56.7%の減少となった。

取引停止処分については、件数が前年比 35.1%の減少、金額が 67.4%の減少となった。

生命保険

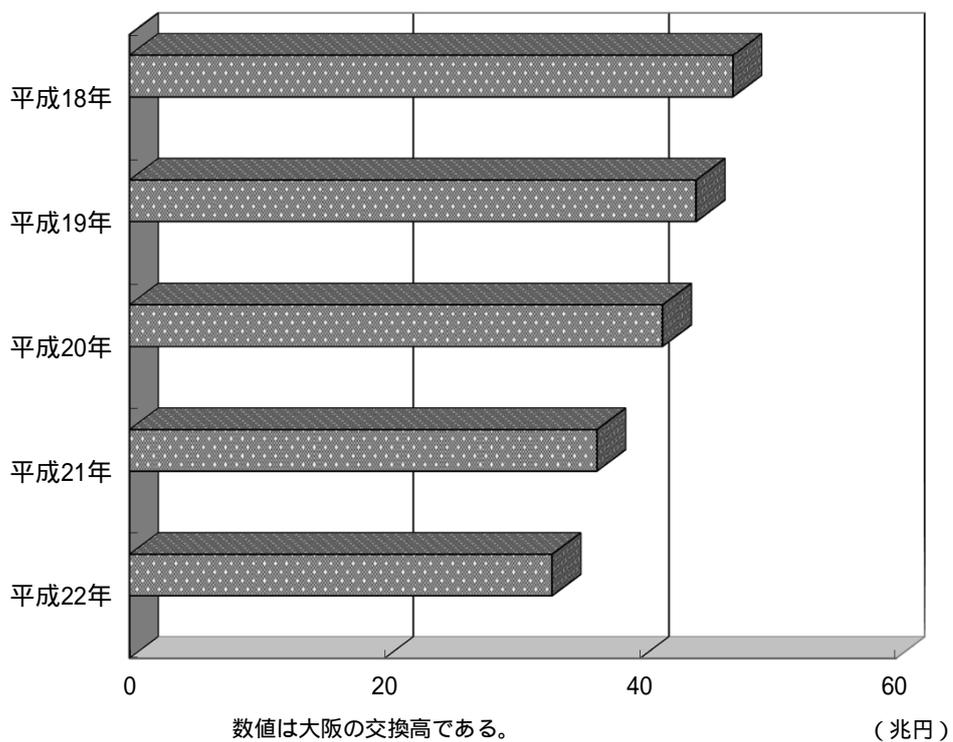
平成 22 年度は、新契約件数が前年比 19.8%の増加、保有契約件数は前年比 1.0%の増加となった。

企業倒産

平成 22 年の府内の企業倒産件数は、2073 件(前年は 2375 件)で、前年より減少した。

負債額は、6292 億 22 百万円(前年は 8672 億 8 百万円)と減少した。

手形交換高の推移（大阪）



企業倒産件数と負債額の推移

